



善正寺だより

掲示板法話

元旦や 今日のいのちに 会う不思議

(木村無相)



〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
TEL:0593-32-0733

明けましておめでとございます。昨年は大雨や土砂災害、御嶽山の噴火、長野県北部の地震など、自然災害が相次ぎました。突然の災害で多くの方が亡くなられました。この世は一寸先が闇。無事に新年を迎えることは決して当たり前ではない。「今日のいのちに会う不思議」という通りですね。さて、今年は「戦後七十年」の年。私事ながら、私自身十一月に「古希」を迎えます。敗戦直後の厳しい事情を赤ん坊の身で知る由もありませんが、ここまで生かされてきた陰には、数えきれないほどの支えがあり、お蔭さまと感謝せずにはられません。両親から聞いた話によれば、私のすぐ上に年子の姉がいたのですが、私が生まれたために栄養失調で姉は亡くなったそうです。思えば胸が痛みます。また、私は生後胎毒が目に入り、失明の危機に瀕しました。生後半年を経た翌昭和二十一年四月末入院、手術が成功して失明の危機から脱することになりました。戦後日本中が焼け野原になった時代の入院・手術がどれほど大変なことであったか？布団をはじ

め、食料や生活用品の一切すべてものを整えて、荷造りして四日市から遠く離れた津市郊外の病院へ何人かの門徒の人たちがガリヤカーで運んで下さったのだそうです。手術して下さったお医者さんや病院の方々のみならず、両親に力を与えて下さった多くの方々のお蔭で今がある。ただただ「不思議のいのちを頂いた」と思えばかりです。戦後、復興後の日本は長く右肩上がりが続きました。だから、私たちは少なからず、豊かさや健康長寿が当たり前だと思ってきたのです。その結果、自己中心的な欲望肥大症の虜になっているという悲しい現実があります。少子高齢化、人口減少時代に突入した今、人間関係が希薄になり孤独地獄にさ迷っていることを痛感します。評論家が「今だけ、カネだけ、自分だけの「3だけ時代」だと喝破しています。この刹那的孤独地獄から脱するには何が必要でしょうか？生かされてきた過去を支えてきた多くのお蔭に気づく。カネで買えない、不思議のご縁に気づく。一人ではなく網

☆行事ご案内☆

『元旦会』 & 『お朝事』

元旦会: 1月1日朝9時 1年のスタートは寺で!

お朝事: 1月13日~16日 朝7時

本堂で正信偈を勤めます。真宗門徒のプチ寒修行! 身の引きしまる4日間。お経、法話後、和やかな茶話会

◇**除夜の鐘 12月31日 夜11時45分より**

誰でも撞けます。除夜の鐘(なまんだぶ煎餅)

元旦会: 子供にはお年玉の菓子進呈、大人は庫裏で親睦会

◇キッズサンガ 鐘つきは毎夕5時年中無休、1月はお経練習無

◇三重組コーラス西勝寺様で、日程未定、決まり次第連絡。

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報が閲覧。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。寺の日常を公開、開設6年5か月で16万1千訪問、一日平均100程、コメント、悩み相談、大歓迎! 即返信します。

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話

※親鸞聖人750回大遠忌法要、平成28年5月15日に決定!

ご法要までいよいよ1年5か月、皆様のご協力よろしく!

◇お稚児さん募集開始! 参加費5千円、詳細お申込みは寺まで生涯のよき思い出、仏縁です。お誘い合わせてご参加下さい!

◇三重組観劇ツアー 1月28日午後、中日劇場、九条武子物語

『如月の華』前進座、参加者には後日詳細連絡

◇新納骨堂後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

キッズサンガの子供たち



お経、仏の子の「誓い」



鐘つき後、整列・礼拝

写真アラカルト

の目のようなつながらりで生かされてあることに気づく。見えないものが見える心の眼を育てるのがお念仏です。いつ命終わっても不思議でないこのいのちの帰依処に目覚めて、一日一日のご縁を大切に歩みたいものです。



ほく、お経大好き!



お内仏報恩講の集い盛況



次男宅の報恩講風景



坊守スケッチ

『聞く地蔵』

と『聞かぬ地蔵』

お正月に、皆さんはそれぞれの神社仏閣にお参りされて、いろいろな願い事をかけられたことでしょうか。

宇野浩二著『地蔵様の村』に掲載された面白い童話を簡単に紹介します。

昔々、ある村に年老いたお坊様が二体のお地蔵様を持って現れました。

「東の山に置いた地蔵は、何でも願いを叶えてくれる『聞く地蔵』。西の野原に置いた地蔵は、めったに願いを聞き届けてくれない『聞かぬ地蔵』。ただし村人は西の聞かぬ地蔵を拜む方がよい」と言い残しました。しかし村人はこぞって『聞く地蔵』に願い事をかけ、たちまちそれが叶えられました。村中が金持ちになり幸せになると、誰一人真面目に働かなくなりました。

ところがある男が「自分だけが村一番の金持ちになりたい」とか「他人は病気で貧乏でもいい」と、自分勝手な願いをかけました。たちまち他人の不幸を願うことが広まり、村中が不幸のどん底に陥り、寂れた村になりました。

そこで村人はハッと気づきました。「あのお坊様が言った通りだ。これからは西の地蔵様にお参りをしよう。願ひ事は一切かけずに、ただ感謝の気持ちで手を合わそう。毎日汗水たらして真面目に働こう」。

村には再び笑顔と平和が戻りました。この話は現代でも当てはまるお話

です。もし皆さんだったら、どちらの地蔵様にお参りされますか？

「お寺で法話を聞いて何になる？」

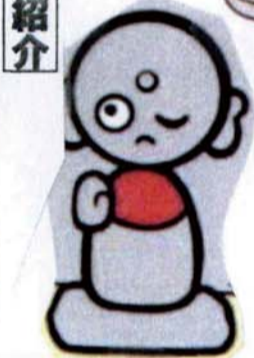
「一体どんな利益があるのだ？」と言われる方は、『聞く地蔵』派。

一方、「お寺で法話を聞いても、すぐには私の問題は解決しないが、これ

を乗り越えるだけの力を与えて下さる。これが本当の御利益！」と思われ？る方は、『聞かぬ地蔵』派。

人間の欲には限りがありません。私利私欲を捨てて、皆が共に喜び幸せになれる道を探しましょう。それがあなたの精進です。あなたをいつも見守り

続けていらつしやる阿弥陀様を心に刻んで、日々感謝の合掌をしましょう。



Eさんのいいもの紹介

☆置かれた場所で咲きなさい(渡辺和子) ※渡辺さんの著書の題名にもなっている言葉。渡辺さんはクリスチャン。自分の居場所見つけで一生懸命生き、周囲を幸せにしたいですね。(坊守)

☆我が身体 頼まなくても 生かそうと 働き続け 休むことなく

兵庫 坂田 某女



☆新連載企画コーナー 若院夫婦の『育自な日記』その3

長女紗恵が産まれてから丸二ヶ月。長男亮爾(2歳9か月)は嫉妬しながらも時々お兄ちゃんらしい振る舞いをします。

長女が泣いていると駆け寄っていつて「よしよし、よしよし」「ごめんね、ごめんね」...どこかで聞いたことのあるその口調は私にそっくり！

そう言えば長男の普段の口調も、松阪出身の私によく似ていて、聞いていて思わず吹き出してしまいます。時にはドキリとすることも...(笑)

子どもは大人の話をよく聞いているし、耳にした言葉はすぐに覚えてしまいます。悪い事も良い事も区別すること無く、どんどん吸収していきます。

「子は親の鑑(かがみ)」とは正にその通り！我が子を見ながら自分たちの言動を省みる毎日です。

新年もどうぞよろしくお願ひします。(潤爾・由佳)

カンパありがとう

小林ふきえ様、高橋智恵子様、盛野佳子様、豊住久美夫様、柴田美津代様、飛鳥一枝様、他匿名様よりお志、切手などを頂戴しました。

「平成27年度善正寺主なる年間行事」

1/1朝9時『元旦会』本堂・正信偈

1/13~16朝7時『お朝事』

3/14(土) 15(日)『春季永代経』(稲葉芳道師・奈良・吉野郡)

5/31(日) 午前・総会、午後『公開法座』(高沢正文師・奈良・宇陀市)

8/22(土) 23(日)『秋季永代経』(足利孝之師・尼崎)

9/20(日) 午前・午後小杉町仏教会『追悼法要』(朝枝暁範師・広島)

11/2(月) 午後・夜3(火祝) 午前『報恩講』(藤大慶師・綾部市)

11/23(祝) 午前『秋勧進』

12/5(土) 夜『お内仏報恩講』

※毎月の例会は原則として第3日曜日の夜7時半より

お悔やみ申し上げます

★服部千鶴代機(75歳)・12月3日(亡) 合掌

お稚児さん大募集!

平成28年5月15日親鸞聖人750回法要(1年5か月後)の御稚児さん大募集中! 参加費5千円

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第二五三号をお届けします。◇新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。◇血縁、地縁が法縁を重ねる基盤だったが、家族葬、直葬が流行とかで先細り傾向を感じる。だがご縁の否定は「人であっても人間でない」とことになる。「人間らしさ」を大切に!

善正寺だより新年号(第253号)をお届りします。皆様のお手元に届くのは年末、どうかご容赦下さいませ。新年にどんな抱負をお持ちですか？親鸞聖人からの回心法要まであと一年とヶ月、稚児募集などしなければならぬことが山積しているのに、日常生活の煩雑に紛れてウロウロしているのが実情です。先頃亡くなつた俳優の高倉健さんの座右の銘は「往く道は精進にして忍びて終わり悔いなし」でした。これは晩年仕事に行詰まった時に、千日回峰行を成し遂げた天台宗の酒井雄哉阿闍梨に相談して贈られた言葉です。「讚仏偈」の最後の一節「我行精進忍従不悔」の意識です。お釈迦様も人生は四苦八苦と言われました。楽しいことはほんの束の間、むしろ苦しいことの連続です。高倉健氏ほどの人気者であっても同じ。決して名声に溺れず、謙虚な姿勢で苦悩を乗り越える為に「旦生」の覚悟で日々精進されました。たとえ孤独でいつと我慢して終わつたとしても、後悔はしないという強い信念を持って生きて来られました。私も見習つてお経の言葉をじっくり味わいたいと思います。それには散歩しながら唱えるのが一番。目で文字を追わないので光景が頭に浮かび、足の運びもリズムカルで一石二鳥です。その中に生涯の心の支えとなるような言葉を発見したいと思います。どうか皆様にとつてもよい一年でありますように。本年もよろしくお願い申し上げます。

平成二十七年一月

合掌

善正寺坊守拝